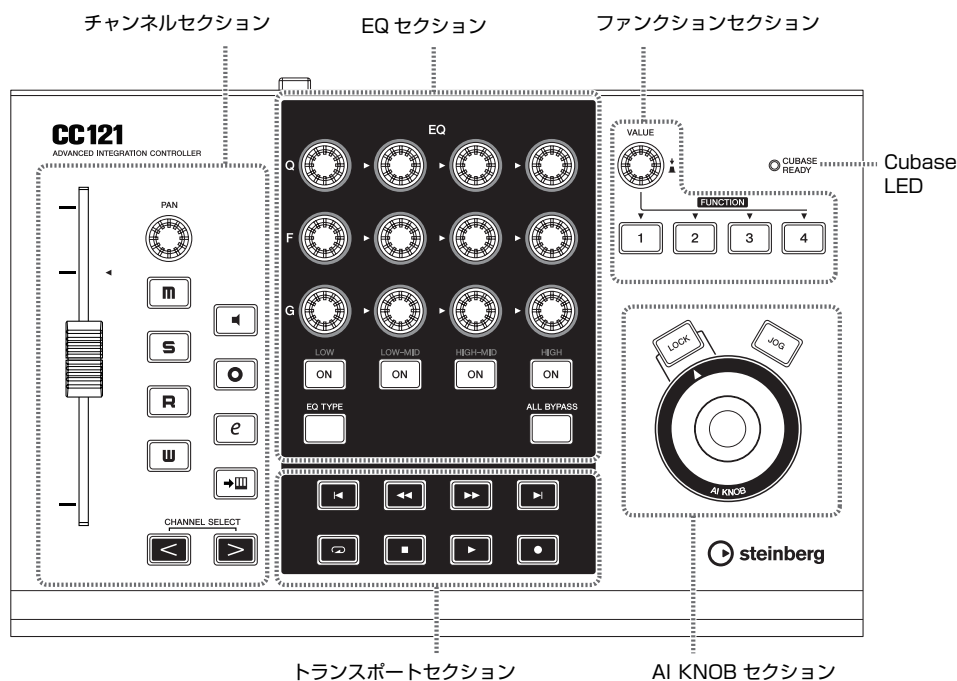


# **CC 121**

**ADVANCED INTEGRATION CONTROLLER**

**V1.5 New Functions**

# フロントパネル



## ■ Cubase LED



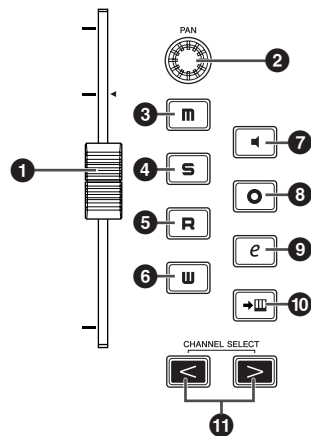
CC121の起動状態やCubaseとの通信状態を表すLEDです。CC121とコンピューターをUSBケーブルで接続し、USBバスパワー電源でCC121が動作していると、LEDが点滅します。またCC121との連携機能に対応したCubaseと通信可能な状態になるとLEDが点灯します。

### 重要！

CC121との連携機能を実現できるCubaseは、CubaseやCubase AIなどのバージョン4.5以降になります。詳しくは、下記URLをご覧ください。

[http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates\\_cc121\\_j](http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_cc121_j)

## ■ チャンネルセクション



Cubase上で選択したトラックの各種操作を行ないます。オートメーションの書き込み時には、このセクションで行なった操作をそのまま記録できます。

### ① フェーダー

Cubaseのミキサーのフェーダーを操作する、タッチセンス付き100mmモーターフェーダーです。操作対象となるトラックが切り替わると、切り替え先トラックの設定に合わせてフェーダー位置が自動調節されます。

**NOTE**

・ モーターフェーダー機能は、電源アダプターを接続しているときにのみ利用できます。

**② PAN ノブ**

PAN パラメーターを操作します。

**③ [ M ] (ミュート) ボタン**

ミュートのオン / オフを切り替えます。

**④ [ S ] (ソロ) ボタン**

ソロのオン / オフを切り替えます。

**⑤ [ R ] (オートメーション読み込み) ボタン**

オートメーションの読み込み機能をオン / オフに切り替えます。

**⑥ [ W ] (オートメーション書き込み) ボタン**

オートメーションの書き込み機能をオン / オフに切り替えます。

**⑦ [ ◀ ] (モニタリング) ボタン**

モニタリングのオン / オフを切り替えます。

**⑧ [ ● ] (録音可能) ボタン**

録音を可能 (オン) にするか不可能 (オフ) にするかを切り替えます。

**⑨ [ e ] (チャンネル設定) ボタン**

選択しているチャンネルの設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。

**⑩ [ ⇨ ] (インストゥルメント編集) ボタン**

選択中のトラックにおいて、VST インストゥルメントの設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。

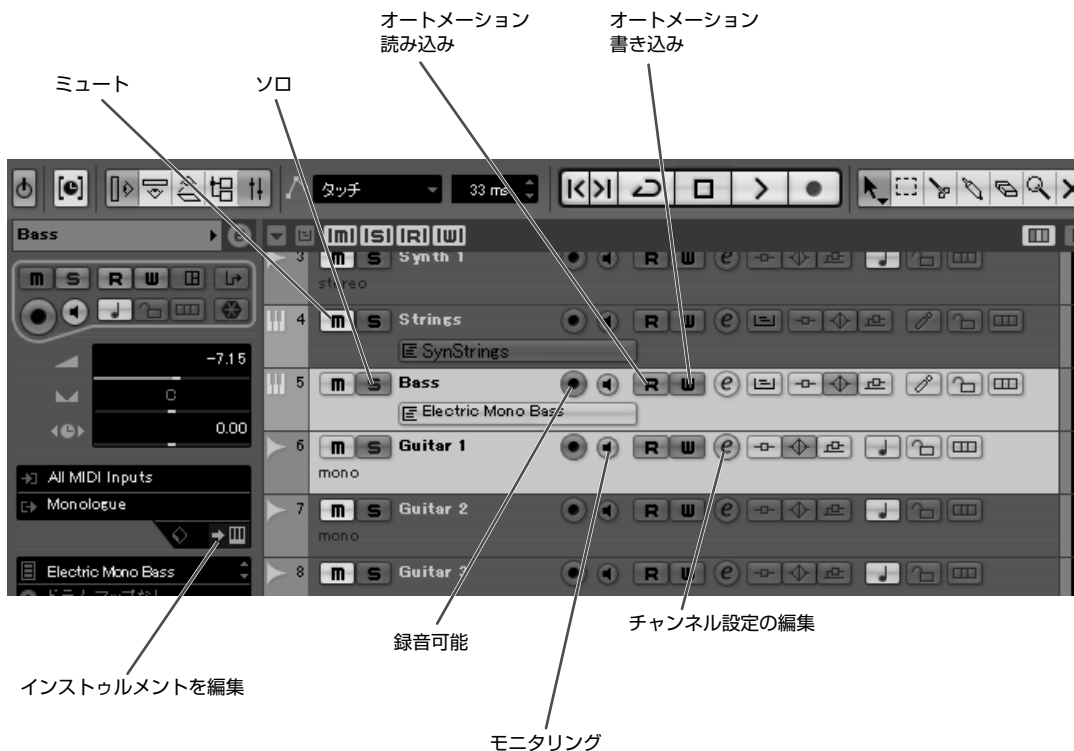
**⑪ CHANNEL SELECT [ < ] [ > ] ボタン**

操作対象となるトラックを選択します。[ < ] または [ > ] ボタンを押し続けると、選択中のトラックを連続で切り替えることができます。

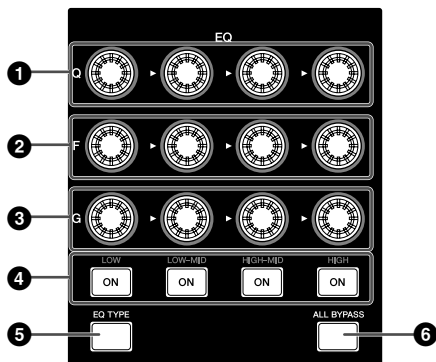
フォルダトラックを選択している状態で [ < ] と [ > ] ボタンを同時に押し続けると、フォルダトラックを開閉できます。

オーディオトラックやインストゥルメントトラックなどを選択している状態で [ < ] と [ > ] ボタンを同時に押し続けると、各トラックのオートメーショントラックを開閉できます。

任意のトラックを選択している状態で [ < ] と [ > ] ボタンを同時に 0.5 秒以上押し続けると、開いているすべてのフォルダトラックを閉じます。



## ■ EQ セクション

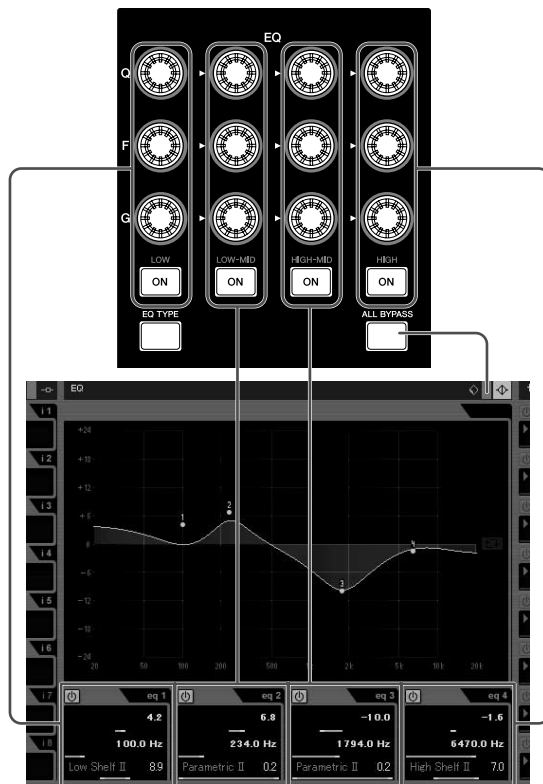


EQ セクションはモードによって動作が異なります。モードは、「通常モード」、「EQ TYPE 変更モード」、「Quick Control 操作モード」の 3 つです。各モードの動作は、次の表をご参照ください。

### 通常モード

オーディオトラックやインストゥルメントトラックなどに搭載される、4 バンド EQ を操作します。

① [Q] ノブ
各 EQ バンドの Q を調整します。
② [F] (フリケンシー) ノブ
各 EQ バンドの中心周波数を調整します。
③ [G] (ゲイン) ノブ
各 EQ バンドのゲインを調整します。
④ [ON] ボタン
各 EQ バンドのオン / オフを切り替えます。
⑤ [EQ TYPE] ボタン
EQ バンドのタイプを変更する「EQ TYPE 変更モード」に切り替えます。詳細は「EQ TYPE 変更モード」をご参照ください。
⑥ [ALL BYPASS] ボタン
EQ のバイパスオン / オフを切り替えます。



## EQ TYPE 変更モード

EQ バンドのタイプを変更します。通常モードの状態では [EQ TYPE] ボタンを押すと、EQ TYPE 変更モードに入ります。EQ TYPE 変更モードに入っている間は [EQ TYPE] ボタンが点灯します。通常モードに戻るには、[EQ TYPE] ボタンを押します。

<b>① [Q] ノブ</b>
各 EQ バンドのタイプを変更します。
<b>② [F] (フリケンシー) ノブ</b>
[Q] ノブと同じ。
<b>③ [G] (ゲイン) ノブ</b>
[Q] ノブと同じ。
<b>④ [ON] ボタン</b>
各 EQ バンドのオン / オフを切り替えます。
<b>⑤ [EQ TYPE] ボタン</b>
通常モードに戻ります。
<b>⑥ [ALL BYPASS] ボタン</b>
EQ のバイパスオン / オフを切り替えます。

## Quick Control 操作モード

オーディオトラックやインストゥルメントトラックの Quick Control を操作します。通常モードの状態では [EQ TYPE] ボタンと [ALL BYPASS] ボタンを同時に押すと、Quick Control 操作モードに入ります。Quick Control 操作モードに入っている間は、[EQ TYPE] ボタンまたは [ALL BYPASS] ボタンが点滅します。通常モードに戻るには、[EQ TYPE] ボタンと [ALL BYPASS] ボタンを同時に押します。

<b>① [Q] ノブ</b>
Quick Control の 1 ~ 4 を操作します。
<b>② [F] (フリケンシー) ノブ</b>
Quick Control の 5 ~ 8 を操作します。
<b>③ [G] (ゲイン) ノブ</b>
[EQ TYPE] ボタンが点滅しているときは、センド 1 ~ 4 のセンドレベルを調整します。 [ALL BYPASS] ボタンが点滅しているときは、センド 5 ~ 8 のセンドレベルを調整します。
<b>④ [ON] ボタン</b>
[EQ TYPE] ボタンが点滅しているときは、センド 1 ~ 4 のオン / オフを切り替えます。 [ALL BYPASS] ボタンが点滅しているときは、センド 5 ~ 8 のオン / オフを切り替えます。
<b>⑤ [EQ TYPE] ボタン</b>
[G] (ゲイン) ノブと [ON] ボタンで、センド 1 ~ 4 を操作できる状態に切り替えます。このとき、[EQ TYPE] ボタンが点滅します。 [EQ TYPE] ボタンと [ALL BYPASS] ボタンを同時に押すと、通常モードに戻ります。
<b>⑥ [ALL BYPASS] ボタン</b>
[G] (ゲイン) ノブと [ON] ボタンで、センド 5 ~ 8 を操作できる状態に切り替えます。このとき、[ALL BYPASS] ボタンが点滅します。 [EQ TYPE] ボタンと [ALL BYPASS] ボタンを同時に押すと、通常モードに戻ります。

### NOTE

- ・ Cubase AI には、Quick Control 機能は搭載されておりません。